

リハビリマシン 関節可動域360

業務用

CH-360

取扱説明書

この度はリハビリマシンCH360のお買い上げ誠にありがとうございました。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用下さい。

なお、この説明書は大切に保管しておきます様お願い致します。



(株)中旺ヘルス

も く じ

	ペ ー ジ
安全にご使用いただくために	2~6
商品説明	7
各部の名称/部品リスト	8
組立方法	9~10
固定ベルトの使い方	11~12
ハンドル部及びパネル説明	13
操作ボタンの説明	14
操作方法	15
商品仕様	16
保証書	17

この度は、関節可動域 360 CH-360 をお買い上げ頂き、誠に有難う御座います。

- ◆安全にお使い頂く為に本書を必ずお読みになり、大切に保管ください。
- * 身体に病気や障害のある方は、トレーニングを始める前に必ず専門医の指導のもとご使用ください。【ペースメーカーなどご使用の方】
- * トレーニングを始める前に、医師かトレーニング指導士にトレーニングプログラムについて相談してください。
- * トレーニング中に吐き気やめまい、その他身体に異常を感じたら、ただちにトレーニングを中止し、医師に相談ください。また、体調がすぐれないと感じた時は、トレーニングを控えてください。
- * ご高齢の方や特に運動習慣のない方がご使用になる場合は、念のため専門の医師またはトレーニング指導士にご相談の上、ご使用ください。
- * ご自分の体力に合わせ、無理なトレーニングはしないでください。

安全にご使用いただくために

☆ ご使用前に必ずお読みください。

- ここに示したサインと図記号の例は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- サインと内容は次のようになっています。







サイン	内 容
 警 告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示します。
 注 意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容及び物的損害の発生が想定される内容を示します。




図 記 号 の 例

	この記号は禁止（してはいけないこと）を示しています。 具体的な禁止内容は、この記号の近くに文書で示します。		この記号は（必ず守ること：しなければならないこと）を示しています。 具体的な強制内容は、この記号の近くに文章で示します。
---	--	---	---

安全にご使用いただくために



1. 使用前に守っていただきたいこと

 警 告	
<p>本機は健康な人を対象とした商品です。心臓病、高血圧症、糖尿病、呼吸器疾患、変形性関節症、リマウチ、痛風、妊娠中の方、その他の病気や障害のある方、リハビリを目的とする方は必ず医師と相談の上、使用してください。</p> <p>※自己判断は、健康を害する恐れがあります。</p>	




 注 意	
<p>ご使用者の体調にもよりますが、運動前のストレッチ等を行なってください。</p>	
<p>運動直後などで脈拍が上昇している場合は、脈拍が正常に戻ってから使用してください。</p> <p>※健康を害する恐れがあります。</p>	
<p>保護者の方は、お子様が本機で遊ばないようにご注意ください。</p> <p>※お子様がケガをする恐れがあります。</p>	
<p>飲食後や疲労時、または体力の状態が平常でないときは運動を行なわないでください。</p> <p>※健康を害する恐れがあります。</p>	
<p>基本的に椅子に座るか、車椅子に乗ってご使用ください。</p> <p>※その他のご使用は、事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>	
<p>コードやコネクターなどに損傷が生じたとき、本機が正常に作動しないとき、落下し破損したとき、水に濡れたときなどは使用しないでください。</p> <p>※事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>	
<p>修理、改造などは絶対に行なわないでください。</p> <p>※事故やトラブルにつながる恐れがあります。</p>	

安全にご使用いただくために

2. 組み立て時に守っていただきたいこと














 注 意	
<p>組み立て時、乳幼児を近づけないでください。 ※部品を口にするなど事故を誘発する恐れがあります。</p>	
<p>十分なスペースを確保し、水平な場所で組み立ててください。また、床を傷つけないよう必ずシートなどを敷いてください。 ※事故の誘発や転倒、また床が傷つく恐れがあります。</p>	
<p>ペダルのネジやボルトが確実に取り付けられているか、また調整部が適切に調整されているか、ご使用前に必ず確認してください。 ※ペダルのネジやボルトがゆるんだままで本機を使用するとケガをする恐れがあります。</p>	
<p>電源ソケット接続部分は確実に挿入してください。 ※ソケット部の挿入が不完全だと機器トラブルの原因となります。</p>	
<p>ペダル部が本体にしっかり固定されているか、ネジ部に弛みがないか確認してください。 ※しっかり固定されていないとケガをする恐れがあります。</p>	
<p>ハンドルがしっかり固定されているかを動かして確認してください。 ※しっかり固定されていないとハンドルが落下しケガをする恐れがあります。</p>	

3. 設置時に守っていただきたいこと

 注 意	
<p>本機は水平な床の上で使用してください。畳やカーペットなどの上で使用する場合は、本機が安定していることを確認してください。 ※転倒してケガをする恐れがあります。</p>	
<p>設置には運動に十分な広さを確保してください。 ※事故を誘発する恐れがあります。</p>	
<p>畳やカーペット、フローリング板の上で使用するときは本機の下に破れにくいシートなどを敷いてください。 ※床面を傷つけたり汚したりする恐れがあります。</p>	
<p>本機は重量物であるため、無理な姿勢で持ち上げたり支えたりしないでください。 ※腰痛やケガをする恐れがあります。</p>	

製品の使用に関する注意事項

1. 使用時に守っていただきたいこと

 警 告	
<p>運動中、身体に異常（めまい・冷や汗・吐き気・脈拍の乱れ・動悸など）を感じたときは、ただちに運動をやめてください。 ※健康を害する恐れがあります。</p>	
<p>使用中、本体の周りに乳幼児を近づけないでください。 ※可動部に触れたり、クランクとカバーの隙間に挟まれてケガをする恐れがあります。</p>	
<p>日頃運動していない方は、徐々に運動強度を上げるようにしてください。 ※健康を害する恐れがあります。</p>	
<p>ご高齢の方や、お子様が使用するときは必ず大人の方が付き添いのもとに使用してください。 ※ケガをする恐れがあります。</p>	
<p>本機は運動に適した服装や靴を履いて使用してください。 ※ケガをする恐れがあります。</p>	
<p>運動中はハンドルをしっかり握るか足をベルトで固定してください。 ※ケガをする恐れがあります。</p>	
<p>運動以外の目的に使用しないでください。本機の上に立たないでください。 ※思わぬ事故やトラブルの恐れがあります。</p>	
<p>本体や、ハンドルにもたれかかったり、本機の前脚を浮かすようなご使用はしないでください。 ※機器が転倒してケガをする恐れがあります。</p>	
<p>ハンドルにぶらさがったり回転部に手を入れないでください。 ※転倒したり指を挟んだりケガをする恐れがあります。</p>	
<p>ペダルを踏んで立ち上がった状態でペダルをこがないでください。 ※バランスを崩し、ケガをする恐れがあります。</p>	
<p>使用中に周囲の人が本機及び使用者を押したり、引いたりしないでください。 ※ケガをする恐れがあります。</p>	
<p>ペダルのクランクとサイドカバーの隙間及びサイドカバー開口部に手や指を入れないでください。 ※ケガをする恐れがあります。</p>	

製品の使用に関する注意事項

2. 使用後に守っていただきたいこと：保管時の注意事項



注 意

- 本機を使用しない場合には、コンセントから電源コードを抜いてください。特に長期間本機を使用しない時は、特に注意してください。
- 本機に付いた、汗や汚れをタオルなどで拭きとってください。
- いつもきれいな所に本機を、保管してください。
- 別の用途に使用したり、特に幼児が触れないように注意してください。



※本機を廃棄する時は、大型ゴミあるいは粗大ゴミとして自治体に回収してもらってください。

3. 移動するときに守っていただきたいこと



注 意

本機の移動時は、二人以上で移動させてください。

※ケガをする恐れがあります。

引きずるようにして移動しないでください。また、傷がつきやすい床を移動時には破れにくいシートなどを敷いてください。

※畳やじゅうたん、床などに傷がつきます。



お 願 い

- 本機を直射日光のあたる場所や、火気あるいは熱源の近くに保管しないでください。
- 屋外やプールや浴室付近、湿気やホコリの多いところ、水滴などがかかる場所には設置したり保管したりしないでください。
(さびが発生したり負荷調整にくるいが生じる恐れがあります。)
- 本機の表示ユニット（コントロールパネル）は精密な電子部品でできています。移動するときなどに衝撃を与えたり、振動の加わる場所での使用は避けてください。動作が不安定になったり破損する場合があります。
- 内部に異物を入れしないでください。異物が入ったまま使用すると故障の原因になります。

商品説明

はじめに

一般的には加齢に伴い、関節可動域は狭くなると言われています。年齢とともに軟骨がすり減った状態になり、関節の間が狭くなります。その為、動きも悪くなり正常な時との動きの違いで狭くなったと感じる事もあります。関節可動域がある程度以上に狭くなったときは日常動作に支障をきたすことになるので、可動域を正常範囲に戻すことが必要となります。そのためにまず行われるのが、器具を用いての関節可動域訓練です。この場合は筋力の強化訓練も平行し行うことが重要になります。この器具は少しでもそれらが解消できるように思い開発いたしました。健常者の方の筋力トレーニングにもご使用いただけます。

本商品は、上部ハンドル（上肢）と下部ペダル部が連動して動きますので全身運動も可能です。基本的に椅子に座るか車椅子でのご使用をお願いします。

● 自動（AUTO）モード

主に間接可動域を広げていくことを目的としたモード。

負荷をかけることはできません。

回転レベル 1～15レベル（毎分10～25回転）調整可能。

ご使用者の状態に合わせ医師の指導の下でご使用ください。

● 手動モード（MANUAL）モード

自力で回転させることのできる方で筋力アップを目的としたモード。

回転負荷レベル 1～15レベルで負荷がかわります。

ご使用者の状態に合わせ医師の指導の下でご使用ください。

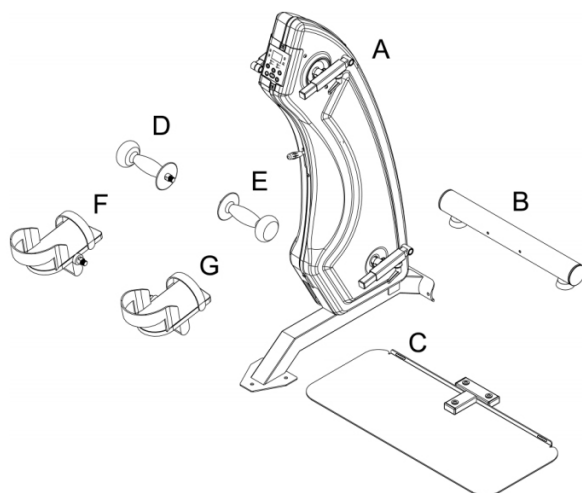
● 自動モードでの逆回転モード

正回転でも補えない関節可動域トレーニングが可能です。

車椅子での使用上のご注意




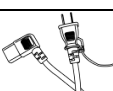
- 車いすのフットレスト脱着式をお勧めいたします。フットレストが固定式の場合又は車いすの機種によっては、ペダル回転時に接触し、ペダルがこぎにくい場合もございます。

各部の名称と部品リスト





部品の名称		数量
A	本体	1
B	前脚	1
C	ベースプレート	1
D	左ハンドル 上肢用	1
E	右ハンドル 上肢用	1
F	左ペダル (固定ベルト付) 上肢用	1
G	右ペダル (固定ベルト付) 下肢用	1

付属品

	手首固定ベルト	2
	大腿用固定ベルト	2
	車椅子固定ベルト	2
	電源コード	1

組み立て工具

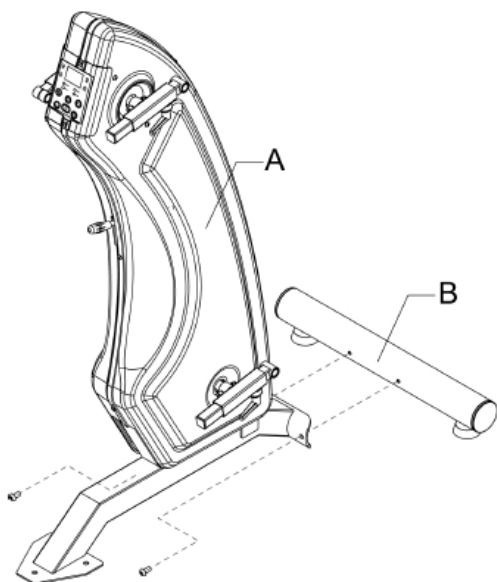
	L型レンチ	1
	簡易スパナ	1

組立方法

Step 1

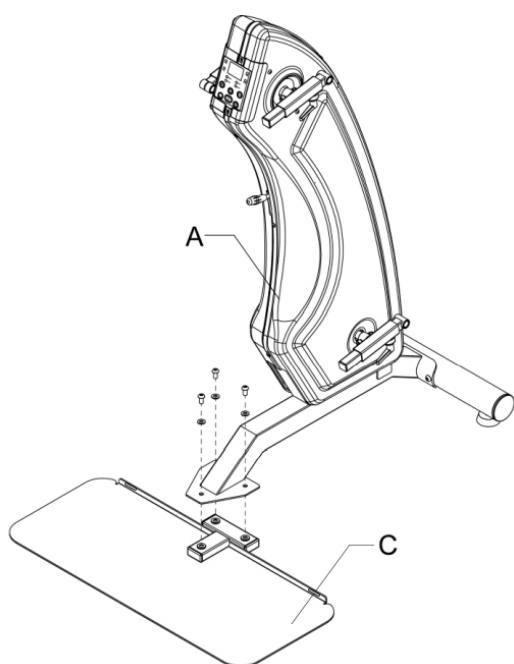
設置面は硬い平行な所に設置してください。

前脚 (B) に付いているボルト2本を外して、
本体側 (A) にボルトで固定してください。
(仮締め)

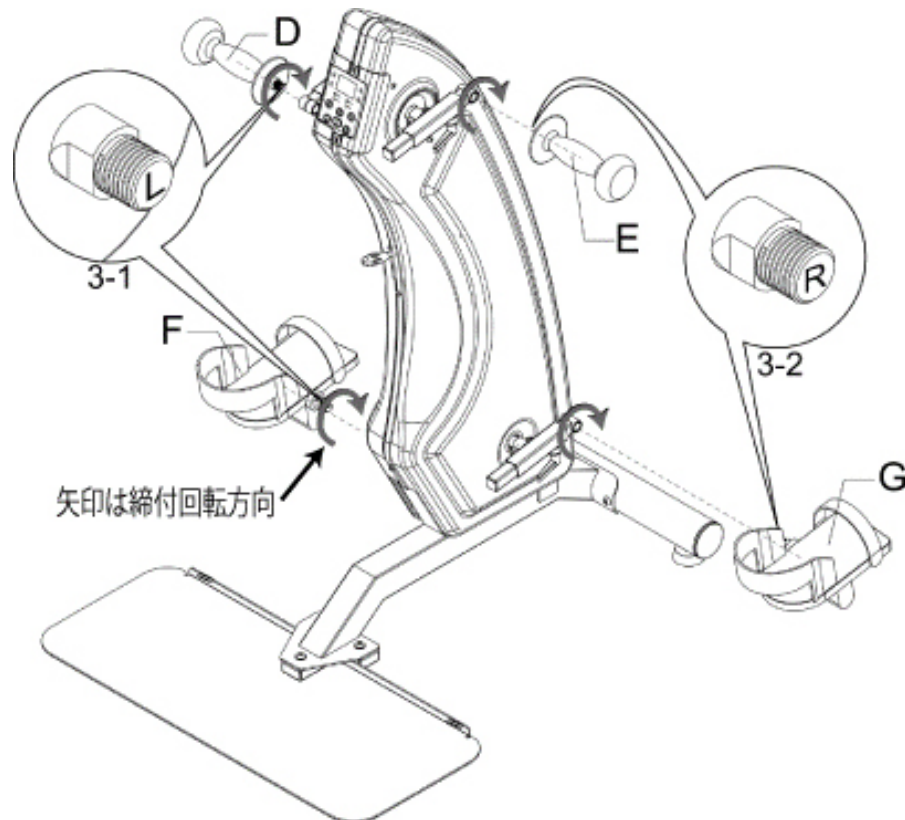


Step 2

ベースプレート (C) に付いているボルトとワッシャーを外して、本体側 (A) にボルトとワッシャーで固定してください。(仮締め)
前脚部とベースプレートを増し締めし
本体がぐらつかないことを確認してください。



Step 3



左、右ハンドル (D、E) を本体 (A) に取り付けてください。

注意：ハンドルとペダルを取り付ける際、左 (L)、右 (R) を間違えないよう充分注意して取り付けてください。

画像 3-1 左側と 3-2 右側をご確認してください。

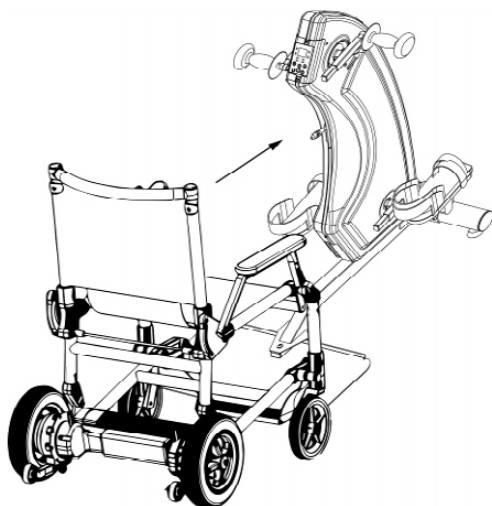
R 右側は右ネジになりますので右に回して固定します。

L 左側は左ネジになりますので左に回して固定します。

車椅子固定ベルトの使い方

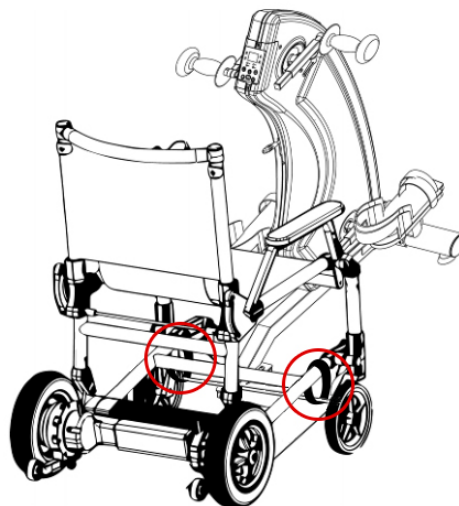
GH-360 と車椅子を固定ベルトで固定する（市販で安全基準の車椅子）

STEP 1



本体の前に車椅子を近づいてください。

STEP 2



ベースプレート前部のフック金具に固定ベルトを通し車椅子のフレームにしっかりと固定してください。

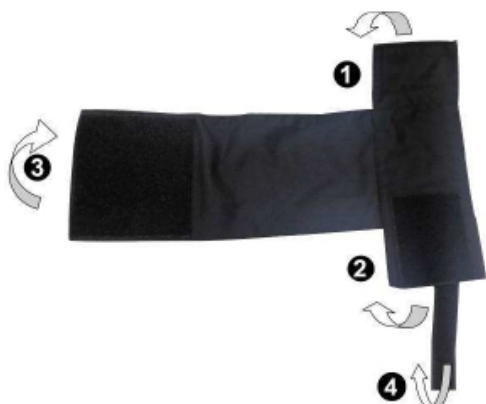
手首固定ベルトの使い方

グリップをしっかり握れない方に、このベルトをおすすめいたします。

第三者の方で取り付け願います。

画像のように1→2→3→4の手順で両手を本体に固定してください。左側、右側両側あります。

細いベルトが付いている方が内側になります。



大腿部固定ベルトの使い方



1. 太腿外股の使い方

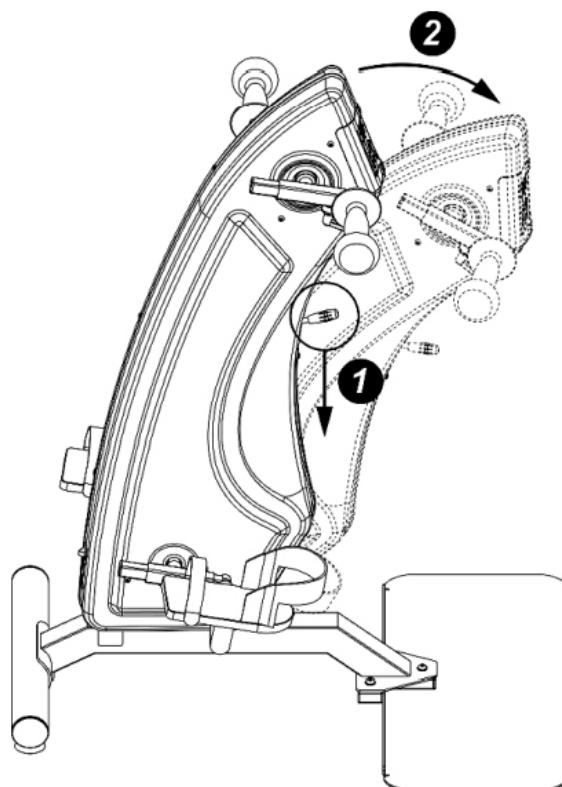
1本のベルトを使用します。
大腿が広がらないようにします。



2. 太腿内股の使い方

2本のベルトを使用します。
外側に広げるため外側は車椅子に固定します。

本体傾斜角度の調整方法

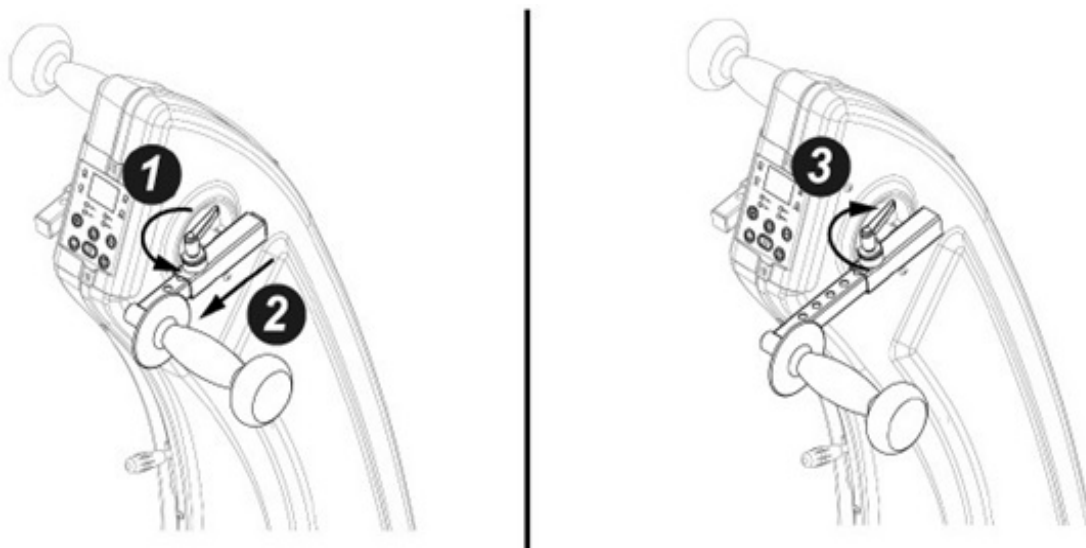


画像のように、本体手前のレバーを下へ下げながら2の方向へ（手前に）本体を押し下げます。レバーを離すとロックされます。

お好みの傾斜角度に調節してください。

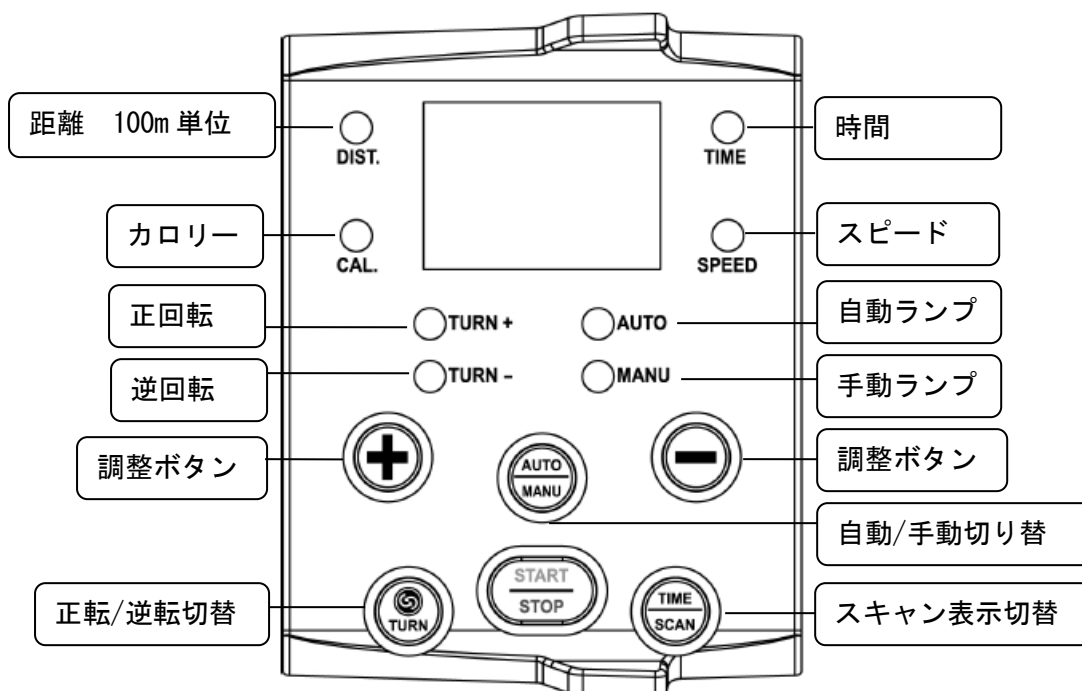
注意！ 使用途中に角度変更しないでください。怪我の恐れがあります。

ハンドル長さの調節方法



1の方向にハンドル調整レバーをゆるめて、ハンドルの長さを2の方向にスライドし再度ハンドル調整レバーを3の方向へ回しがたつきのないようしっかり固定してください。脚部も同様に調整してください。

モニターパネルの説明



操作ボタンの説明

		ボタン機能	使い方
1.		スタート ストップボタン	一回押すとスタートします。 二回押すと一旦停止します。
2.		自動(オート)と手 動(マニュアル)の 切り替え	自動と手動を切り替えることができます、LED ランプが設 定により変わります。初期画面では自動になっています。 手動の場合、TURN+又は TURN-の LED ランプが表示しませ ん、使用中で自動と手動の切り替えはスタートボタンを押 してください。
3.		正回転と逆回転の 切り替え	正回転又は逆回転が設定できます、LED ランプが設定によ り変わります、設定されていない場合、既定値が正回転に なっています。AUTO使用中押すと逆回転になります。
4.		マイナスボタン	スピード/負荷/時間(数値)を下げるボタン。
5.		プラスボタン	スピード/負荷/時間(数値)を上げるボタン
6.		時間設定 SCAN ボタン	1. 時間の設定ができます、TIME の LED ランプが点いてい る時、+と-ボタンで時間の設定ができます(設定範囲 5-30 分)、5 分単位の設定、設定されていない場合、 既定値は 30 分、設定してから 5 秒以内にスタートしな い場合、0 表示に戻ります。
			2. 自動又は手動で使用中このボタンを押すとスピード、 カロリー、距離、時間が表示され選んだ項目がパネル に表示されます。

操作方法

はじめに電源ソケットを本体後方部にしっかりと差し込みます。

すぐ上の電源スイッチをONにします。ピーの音と同時にパネルに0の表示がされます。

AUTOとTURN + (正回転) のランプが点灯します。(初期画面)

ハンドルを握り、足をペダルに固定してください。

AUTOモード (自動モード)

STARTを押すと、レベル1(10回転/分)のスピードで作動します、この時+と-のボタンを押してスピード調整ができます、調整範囲はレベル1-15 (10-25回転/分)。STOPボタンを押すと停止します。(時間初期既定値 30分 時間設定にて変更可能)

使用中にSCANボタンを押すと、スピード→カロリー→距離→時間の順に切り替わりランプが点灯します。選んだ項目がパネルに表示されます。

使用中にTURNボタンを押すと一瞬停止し使用時とは逆の回転で回ります。

自動逆転制御 AUTOモード中、モーターに大きな負荷がかかった場合、3秒後にアラームが鳴りモーターが逆回転になります(巻き込み防止)ので安全上STOPボタンを押し停止させてください。

MANUモード(手動モード) AUTO/MANU ボタンにてMANUを選択

START ボタンを押すとSPEEDのランプが点灯します。既定値は時間が30分になっています。レベル1の負荷から始まります。負荷の調整範囲はレベル1-15、STOPを押すと、負荷が0になります。運動中任意でスピード調整可能。

使用中に、SCAN ボタンを押すたびにスピード、時間が交互に表示されます。START を押す時はスピード表示になっています。

時間設定方法

運動前にTIME/SCAN ボタンを押すとTIMEのランプが点灯し、30と表示されますので、+/-ボタンでお好みの時間を設定してください。

運動開始するにはTIME設定に5秒以内STARTしてください。5秒を経過すると初期画面に戻ります。設定時間になるとアラームがなりENDが表示されます。

●運動中は故意に負荷を加えたりせずテンポ良くご使用ください。

回転部に手や足を挟まないよう注意してください。

商品仕様

※ お断りなく仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

※ RPM とは回転数/分です

名称	関節可動域 360
形式	CH-360
電源	AC100 15A 50/60Hz
本体重量	約 23.5 kg
本体サイズ	使用時：(約) 幅 700×長さ 900×高さ 1000-1140mm
設定速度	15 段階 (10RPM-25RPM)
設定負荷	15 段階 (レベル 1-15)
使用環境温湿度	+10~+35℃ 30~80%RH
保存環境温湿度	+10~+50℃ 20~90%RH
使用モーター	AC モーター 50/60 Hz
付属品	取扱説明書 (品質保証書付き) 固定ベルト・工具等
原産国	台湾

保証規定

- 1.) 取扱説明書に従った正常な使用状態で、お買い上げ後 2 年以内に故障した場合には無償修理いたします。
- 2.) 無償修理期間内に故障して修理を受ける場合は、商品に本書を添えてご購入店又は(株)中旺ヘルスへ依頼又は、送付してください。
- 3.) 無償修理期間内でも次の場合には有償修理になります。
 - ・ 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - ・ お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - ・ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や電源の異常電圧による故障および損害。
 - ・ 本書の提示がない場合。
 - ・ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
 - ・ 消耗品(ペダルベルト・ペダル・ハンドルグリップ その他ベルト類・電源コード)
 - ・ 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - ・ 車両や船舶等に設置された場合に起因する故障および損傷。
 - ・ 本書説明とは違う組立て及び使用した場合による故障および損傷。
- 4.) 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
- 5.) この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

品質保証書

このたびは、中旺ヘルス健康機器を、お買い求めいただきありがとうございました。本機は厳重な検査を行い高品質を確保しております。しかし通常のご使用において万一、不具合が発生しましたときは、保証規定によりお買い上げ後、2 年間は無償修理いたします。

※本機の保証は、日本国内での使用の場合に限ります。

This warranty is valid only in Japan.

※以下につきましては、必ず販売店にて、記入捺印して
いただいでください

品名: 関節可動域 360

形式: CH-360

ご芳名:

ご住所:

TEL. ()

お買い上げ店名:

印

住所:

TEL. ()

お買い上げ年月日: 年 月 日

シリアル NO